

## Amir Tsarfati 氏 スペシャルアップデート 2018 年 11 月 4 日公開

.....

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。偉大なる王の都、エルサレムより、フェイスブックライブを行っています。背後に見えるのは、エルサレム旧市街の壁、そして、私の指の先には、有名な「キング・ダビデホテル」、反対側には、市の他の場所です。美しい夜です。こちらエルサレムは、だんだんと寒くなってきました。今週は、寒冷前線と雨が予測されていますが、それもまた楽しみです。

では、お祈りをしてから、短く、とても重要なアップデートをしたいと思います。



エルサレムの夜景をバックにライブ

お父様。感謝します。あなたは、あなたの子供達のご計画を知っている事を望んでおられます。

お父様。あなたは恵みにより、あなたの子供達にこれから起こることを教えてくださいました。

お父様。あなたは、古代のイスラエルの民に、さらに具体的に言えば、イッサカルの子孫に、時代の理解を与え、イスラエルの民がすべき事を知るようにされました。

お父様。今日、私達には、全聖書があり、あなたの御言葉のご計画全部があります。私達は、時と季節を知っていて、私達は、イスラエルがすべき事だけでなく、私達全員がすべき事を知っています。私達は、こんにちにあってもイッサカルの子孫です。ですからお父様。あなたに感謝しあなたの御名を祝福します。今日、私達はあなたの都、あなただけの都、エルサレムより、この場所に戻ってこられる王の王、この場所に王座を設け、私達と共に千年の間統治される方、イエス様の御名によってお祈りします。アーメン

アーメン！

皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。エルサレムよりライブを行っています。背後に見えるのは、旧市街の壁、あちらは有名な「キング・ダビデホテル」反対側には、市街の西側です。現在起こっていることに関して、短くアップデートしたいと思います。それから、アメリカに居る私の友人達に勧告します。

中間選挙の2日前ですが、今回は、おそらくこの70年間で、最も重要な中間選挙でしょう。

ということで、まずは私がずっと言い続けてきた事から。

イスラエルは、国際的に非常に成功しています。以前お伝えしましたが、国際社会から、イスラエル首相に、フォーラムに出席して欲しいと、次から次へと招待状が届いています。今回は、ネタニヤフはブルガリアから戻って来ました。そこでは彼は、「クラヨーヴァ・グループ」と呼ばれるところへ出席しました。



クラヨーヴァ・グループに招待されたネタニヤフ首相

これは、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャ、セルビアの4カ国からなる集まりで、彼らは、2015年に集まり始めました。そしてこの国の集まりの目的は、統一、交通機関、経済、協力、資源です。彼らが初めて招いた外国の指導者が、他にもなく、イスラエルの首相でした。

これがどうして驚きかと言うと、彼は、この国々の集まりについて言及し、彼ら全員がイスラエルを支持する事を約束したと言いました。今後は、これまでのように国連で自動的にイスラエルに敵対して投票しない、と。首相は、この週末の間に、非常に興味深い事を明らかにしました。

彼は、この昨日の土曜日の夜に、イスラエルに戻って来てから行った演説の中で、その会合が素晴らしかったというだけでなく、2つの事を明らかにしています。

まず一つに、彼は、ヨーロッパ国内で計画されていた様々なテロ攻撃を、イスラエルが阻止した事を明らかにしました。これに関しては、また後ほどお話しします。彼はさらに、イスラエルはサウジアラビアの安定に非常に関心を持っている、と言いました。恐ろしいサウジのジャーナリストの殺人を踏まえても、です。

ところで、私はずっと言っていますが、殺されたのは聖徒ではありませんよ？この男は、実際、ISISが人々の首を斬る事を賞賛していたのです。彼らは良い仕事をしている、と彼は言っていたのです。ですので、あちらでは聖人が死んだのではありません。

ただ、言っておきますと、ネタニヤフは非常に巧みにEU(欧州連合)を内側から解体しています。前回彼がそれを行ったのは、7月19日の、“ヴィシエグラードグループ”に出席した時でした。これは、チェコ共和国、ハンガリー、ポーランド、スロバキアからなるまた別のグループで、彼は、あちらでも初の外国指導者として会合に招待を受けました。この、ヴィシエグラードグループは、1991年にハンガリーのビシエグラードで始まり、ルーマニアのクラヨバで始まった、あのグループとは異なります。

ともかく、皆さんにお伝えしたいのは、両方の場合も、また他の多くのケースでも、首相は巧みに、EUが自動的にイスラエルに敵対して投票する事を、終わらせているのです。EUの決断の多くは、実際には、参加国全員が満場一致で投票しなければ履行はできません。それが、もうすでに私は8カ国の名をあげましたが、これらの国は全て、イスラエルに敵対する事には、常に「NO」と投票するのです。ですからこれは、非常に利口な動きで、非常に良い動きです。また、現在、イスラエルがどれほど尊敬されているかが窺えて、非常に興味深いです。

他でもなく、我々のテクノロジー、開発、それから軍隊/諜報技術、これらすべての国々が、イスラエルとさらに強く手を組む事を望んでいるのです。

それは、イスラエルの諜報が、恐ろしいテロ行為、そのほとんどがイスラエムテロですが、それらを阻止して、ヨーロッパと他の世界を助けているのを、彼らが目にしているためです。

次に、ネタニヤフは演説の中で告げた事ですが、基本的に彼は、次のように言いました。イスラエルは、安定したサウジアラビアを見たいと願っている。

皆さん、言っておきます。

イスラエルの首相と、サウジアラビアの皇太子がかなり親しいのは、偶然ではありません。

事実、サウジの皇太子は、つい先日、福音派クリスチ안의信者達のグループを接待したのです。

信じ難いかも知れませんが、たくさんの著書を執筆している Joel Rosenberg も、他のクリスチ안의指導者達と共に、サウジ皇太子の官庁で接待を受けました。西洋諸国に対してだけでなく、アメリカだけでもなく、福音派クリスチアンに対するサウジのオープンさは、実に前代未聞です。

さらに皆さんにお伝えしたいのは、サウジのジャーナリスト1人が殺されただけでは、ムハンマド・ビン・サルマーンを引きずり下ろす事は出来ません。ちなみに、ビン・サルマーンは先週、リヤドの経済フォーラムでの演説の中で、あの殺人は、非常に凶悪な行為であり、誰であれ犯人はその報いを受ける、とっていました。

ですから、基本的に彼は、自分はそれに同意していないという立場をとりました。もちろん、発言は、実際に行われた事と全く一致するものでない事は、我々の全員が知っていますが。ただもし、ビル・クリントンに、彼に敵対する人々を抹消する事が出来、ウラジミール・プーチンが、イギリスで自国民に毒を盛って、逃れる事が出来るなら、ISISを賞賛する者を殺した事で、サウジの皇太子が降ろされる事はないと思います。

つまりポイントは、そんなに簡単には降ろされない、という事です。

次に、覚えていてください。イスタンブールのサウジ領事館で、この殺しが行われたのは、基本的には、トルコがサウジに敵対して利用したい事であり、民主党支持者達が、トランプに敵対して利用したいことですが、その両方共が、うまく行きませんでした。

事実、皆さんにお伝えしますと、トランプに敵対する、最近の民主党支持者の働きは、ほとんどが、次から次へと失敗しています。最後は昨日でしたが、カバノー氏に対して、性的暴行を受けたと訴えていた女性が、自分が嘘をついていたと認めました。彼女は、自分がメッセージを送ったことを認め、基本的には、自分は彼に一度も会った事がないことを告白しました。

民主党から、非難の声は一切聞いていません。リベラルのメディアの方からも、非難も何も一切聞こえてきません。私は、彼らが何かを言ったり、何かをすることは期待していませんが。

ただ、皆さんにお伝えしておきたいのは、前回、ベニヤミン・ネタニヤフが、オマーンまで、はるばる飛んだことを、お伝えしました。ペルシヤ湾沿岸、イエメンの真横、イランの真横、サウジアラビアの真横、アラブ首長国連邦の真横です。そこで彼は、オマーンのスルタンの接待を受けました。



アラビア半島の地図

ただ皆さんにお伝えしたいのは、ペルシヤ湾にあるアラブ諸国がもう一つ、首相を接待したのです。

私が受けた情報は、バーレーンに関する事で、これが非常に興味深いのですが、ネタニヤフが、「サウジの皇太子は、サウジの権力者としてとどまるべきだ。サウジ政権は、安定しなければならない。」と発言したとき、その発言の直後に、バーレーンの外務大臣が、「ネタニヤフは正しい。」とツイッターで投稿、さらに、別のバーレーンのジャーナリストが、パレスチナ人に向かって言いました。「我々がイスラエルとの関係を築くの、お前達の許可は必要ない！」

このように、イスラエルのものすごい勢いを、私たちは今日にしているのです。もはや、他のアラブ諸国と関係を持つのに、パレスチナに頼る必要はありません。

そして、パレスチナにとっては、これ以上の悲劇はありません。

彼らは常に、これらを“人質”として、イスラエルに「我々の要求を満たさなければ、お前達には、他のアラブ諸国との平和は決してない。」と言って来ましたから。

ところが、そうではないのです。

皆さん、言うておきますが、イスラエルの諜報、運輸大臣もまたオマーンに飛びました。

私たちは現在、諜報と運輸において協力関係を増大して動いているところです。主に鉄道で、オマーンからサウジアラビア経由ではるばるヨルダンとイスラエルに至る事になるでしょう。これはものすごい事になりますよ。これによって、この地域全体の経済が飛躍するでしょう。

ブラジルの次期大統領は、福音派クリスチャンの素晴らしい人です。

もちろん、リベラルのメディアが彼を紹介する時は、いつも、論争を呼ぶようなことを言ったり、過激右派だとか何とか、全く馬鹿げた事を言いますが。もちろん、彼が聖書の信念に立てば、論争を呼びはしますが、彼は、自分の就任の時まで待たず、就任後は、すぐにブラジルの大使館を、エルサレムに移す決意を、すでに全世界に告げました。

南アメリカ最大の国であるブラジルは、ある意味、第二の大国となるでしょう。

長年、激しい反イスラエル主義、イスラエルに敵対して来た国でしたが、そのおブラジルの大統領が、こう言ったのです。

「ブラジルがイスラエルを憎んできた、この何年もの間、文字どおりブラジルは神に呪われていた。

しかしブラジルがイスラエルを祝福するなら、神は、ブラジルを祝福してくださるだろう。」

これは、特記すべき事です。ネタニヤフ首相は、新大統領の就任式にブラジルに飛ぶ計画を立てています。そして、その直後に、ブラジルの大使館が移転します。

さて、オーストラリアの首相もそれを考慮していると報告しましたが、しかし、彼の国のリベラルのメディアとリベラルな諜報機関が、オーストラリアに恐ろしい大混乱が起こって、オーストラリアに大きなダメージを与えろと言って、彼を恐れさせました。アメリカでは、それによって大混乱は起こりませんでした。アメリカは、引き続き彼らを愛するものには愛され、彼らを憎むものには憎まれています。

だから、オーストラリアがあと1分待ったとして、何も変わらないと、私は思いますが。

ところで、オンラインでブラジルの大統領について、第三神殿再建を推し進めるかも知れないとか、様々なことが囁かれています。

私は、この全貌を調べましたが、それは事実ではありません。

ブラジルの大統領は、宗教や何か霊的な事に興味は持っていません。

彼は、エルサレムに神殿が建つのを心待ちにしている福音派に属しているかも知れませんが、大統領として彼が言った事、また、唯一彼が意図しているのは、大使館の移転だけです。

次に、神殿、神殿周辺と言えば、2日ほど前に、西壁の女性達が祈る場所で、石の間に蛇がいるのが見つかりました。

私はもう、ウンザリですし、びっくりですが、この事で、ペテン師達がこぞって言っているのです。

「聖書預言が動き出した！」 「世の終わりが近づいている！」

なぜか？ 嘆きの壁で蛇が見つかったから。

皆さん、蛇なんか、この国のいたる所で見つかります。世界中のいたる所にいます。

石の間に蛇がいて、たった1時間、女性の側で祈りが滞ったからといって、世は終わりません。

何も終わりません。石の間に蛇がいた、それだけです。

この手の事を言い始めると、私達は、自分達が笑い者になるだけで、聖書から遠ざかってしまいます。聖書には、石の間の蛇については語っていませんから。聖書は、こんな事に関して一切語っていません。

世界中の人たちに、石の間に蛇がいて、それが世の終わりだと告げていたら、聖書が告げている、本当の議論になった時、人は我々のいう事を一切信じないでしょう。私達は、ただ想像の中を漂っているだけになります。

皆さん、地に足をつけましょう。他でもなく、イスラエルは故国に戻り、イスラエルは繁栄しています。

ロシアは国境にいて、イランとロシアとトルコは、同盟を結んでいます。他でもなく、いちじくの木が息を吹き返したのを、私達は見ているのです。

私達は、私達が見るべき聖書的なしるしを 全て見ているのですから、西壁の女性側にある一つの石の間にいた、蛇にしがみつくと必要はないのです。

かんべんしてくださいよ。

皆さん、イランは今日、テヘランのアメリカ大使館を 占領した日から 39 年を迎えました。

明日から、制裁が開始されます。

今回の制裁は、資源の分野に対して、造船所に対して、それから運送に対して、石油輸送コンテナに対して、こういったもの全般に対して、さらに中央銀行に対しても、です。

明日の 11 月 5 日が、アメリカがイラン協議に留まる最終日となり、アメリカは明日、正式に部外者となり、従って、明日、アメリカは古い制裁を、全権威をもって再度課します。

これが、トランプ大統領がしようとしている事です。これは、おどろくべき事です。

皆さん、すでに見ておられる通り、イランはすでに苦しんでいて、政権はすでに苦しんでいます。

トランプ大統領がしようとしている事、もしくは、言おうとしているのは、

「我々は、イランが商売をし、その資金で継続して核プログラムや、弾道ミサイルプログラムを行い、イエメンやシリア、イラク、レバノンといった中東全体のテロリストを支援するような事は認めない。

我々は、それはさせない。もし、イラン協議からの資金が、イラン国民に行くなら、何か別の結果を見ていただろう。しかし、全資金が、イラン国民に行かないだけでなく、イラン国民に敵対して使われ、事実、それによって、イラン政権を崩壊させている。」

ですから皆さん、信じ難いかも知れませんが、さらには、もはや架空の話のようで めちゃくちゃに聞こえると思いますが、

イスラエルが、オマーンとの新しい関係を始めた時、オマーンは、イランと物理的にだけでなく、地理的にも、また、政治的にも、わりと仲が良かったため、イランはすでに、ある特定の件に関してイスラエルと話をする窓口として、オマーンを使う方法を模索し始めているのです。

面白くないですか？ 突然、彼らは話をしたがる。彼らは突然、何か話をしたり、何かをしたいと思いはじめ。信じられません。

次にもう一つ、皆さんに言っておきたいのは、反ユダヤ主義についてです。

皆が、アメリカ合衆国における反ユダヤ主義について語っていますが、反ユダヤ主義は、世界中に存在します。ヨーロッパでも毎日のように起こっていて、フランスのユダヤ人は、もう、ヤムカを頭に被って歩くことすら出来ません。スウェーデンでも同じです。

皆さんにお伝えしておきますが、アメリカで、反ユダヤ主義のイベントが増大していますが、メディアは、反ユダヤ的行動を、ただ白人至上主義と、トランプ支持者だけであるかのように見せかけているのが、面白いと思いませんか？

しかし、言っておきます。皆さんは聞いていないかもしれませんが、

ニューヨーク市警が最近逮捕したのは、若い、黒人のアメリカ人のゲイで、彼は、公認の民主黨員、彼はオバマ支持者で、彼はただ、ユダヤ人に怒っていたのです。

だから彼は、ウィリアムズバーグとその他の場所にある、多くのユダヤ人施設、少なくとも6つの件で、放火とカギ十字をスプレーで落書きして逮捕されました。

メディアが皆さんにそれを伝えましたか？ 彼らが皆さんに何を伝え、何を伝えないか、その決め方が面白いです。

ドン・レモンだったと思いますが、CNNの総合司会者の1人が、彼が言いました。白人男性は、アメリカで最も危険なテロリストだ、と。

誰も、何も言いません。誰も彼を非難しません。

彼が、白人男性と付き合っているという事実は、何も変わらないのに。

これは、ご都合主義、偽善がいいところでしょう。

どうして皆、これに耐えられるのか、私には分かりません。

ヨーロッパは、組織的に激しくイスラエルに敵対していながら、一方では、こんにち、イスラエルの諜報に完全に依存しています。多くのテロ行為がイスラエル諜報によって、阻止されています。

皆さん、この数カ月の間、イスラエルは、フランス、ブルガリア、ベルギー、オーストリア、ドイツでテロ行為を阻止する助けをし、今回はスウェーデンとデンマークを助けました。

デンマーク政府は、イスラエルのモサドから密かに知らせを受けたのは、

イランのセキュリティーサービスが、デンマークに拠点を置くイラン人の活動家を暗殺しようとしている事、その人物は、あの、イラン南部での軍事パレードの時のイラン革命防衛隊の兵士達の大量殺戮の背後にいたと 彼らは考えています。

皆さん、これは驚きです。我々は、デンマークに言い、スウェーデンに言い、フランスに言い、ベルギーに言い、ドイツに言いました。

そして、これらの人達から私たちが受け取っているのは、彼らは、未だ、イラン協議を推し進め、彼らは、未だ、移民を自分たちの国に推し進め、彼らは、未だ、国連で反イスラエルの決断を推し進めています。

これは、非常に気になる事です。

最後に皆さんにお伝えしたいのは、

アメリカの皆さん、あと2日ほどで投票日です。なんども言いますが、現在、非常に重要な選挙、中間選挙です。もし、共和党が議会上院で多席をしめ、力を得られなければ、事実、一切多数を得られなければ、アメリカを回復させるためのこの政権の働きは、あらゆる側面で、無駄に終わるでしょう。

皆さん、この政権が初日から行ってきた事は、“ユダヤークリスマン”の価値、聖書の価値観に完全に沿うものでした。それは、生命尊重にも見られますし、家族尊重にも見られますし、親イスラエル主義にも見られますし、全てに見られます。

皆さんに、詩篇 33 章をお読みしたいと思います。そこにはこう書かれています。何よりも、これが知識の言葉、預言の言葉になると思います。聖書は、詩篇 33:10 でこう告げています。

**10 主は国々のはかりごとを無効にし、国々の民の計画をむなしくされる。**

**11 主のはかりごととはとこしえに立ち、御心の計画は代々に至る。**

**12 幸いなことよ。主をおのれの神とする、その国は。**

**神が、ご自身のものとしてお選びになった、その民は。**

(詩篇 33:10~12)

素晴らしいと思いませんか？「幸いなことよ。主をおのれの神とする、その国は。」

アメリカが神に従わないなら、もしアメリカが、「神よ。」と言うだけでなく、神の信条を選ばないなら、神の信条、“ユダヤークリスマン”信条、聖書の信条に投票しないなら、彼らは祝福されません。

このように、聖書的な信条に関しては、政権の行動と直接繋がっているのが分かるでしょうか。そして、それには祝福が伴うのです。これは、私にとっては実に明確です。

ところで、もう一つ皆さんにお伝えしたいのは、聖書は、こう告げています。



16 **王は軍勢の多いことによつては救われぬ。勇者は力の強いことによつては救い出されぬ。**

17 **軍馬も勝利の頼みにはならない。その大きな力も救いにならない。**

18 **見よ。主の目は主を恐れる者に注がれる。その恵みを待ち望む者に。**

19 **彼らのたましいを死から救い出し、ききんのときにも彼らを生きながらえさせるために。**

20 **私たちのたましいは主を待ち望む。主は、われらの助け、われらの盾。**

21 **まことに私たちの心は主を喜ぶ。私たちは、聖なる御名に信頼している。**

22 **主よ。あなたの恵みが私たちの上にありますように。私たちがあなたを待ち望んだときに。**

(詩篇 33:16~22)

これは、アメリカの人達に対する私の祈りです。彼らの希望が主にあるように。

そして彼らが彼を見、彼を信頼するように。そして彼の御業を見るように。

それから、ヘブル人への手紙 9 章で締めくくりたいと思います。

イエスは、来られます。それも、実に間もなくです。

そこで聖書には、彼は来られる、そして次に彼が来られる時には、罪の問題のためではない、と書かれています。

彼はもうすでに、世の罪のために死にましたから。今回は、別のことのために来られます。聖書には、

ヘブル人への手紙 9:27 にこうあります。

27 **そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、**

**キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく…**

(ヘブル 9:27a)

私たちは皆、恵みによって救われたのです。彼は、私たちが罪から救うためには来られません。

罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

ここでの救いとは、体の救いです。ローマ書 8 章にあるように体の贖い、ローマ書 13 章の告げている通りです。

11 **…今は救いが私たちにもっと近づいているからです。**

12 **夜はふけて、昼が近づきました。**

(ローマ 13:11b~12a)

ですからここは、私たちの体のこの世からの贖いです。  
最後に、これをお伝えして終わりたいと思います。  
国として、アメリカの人々にお伝えしたいのは、  
主ご自身を頼るだけでなく、これを覚えていてください。  
「幸いなことよ。主をおのれの神とする、その国は。」 詩篇 33:12

祝福は、神の御言葉とその価値、聖書的な信条が尊敬され、尊重され、実行された時にのみ、与えられます。

次に、世界中の人全員にお伝えします。

イエスは戻って来られます。しかし、彼は、クリスチャンを自称する者全員のところに戻って来られるのではなく、彼を待ち望む者のところに戻って来られるのです。

そういう人達の元に彼が戻って来るのは、罪の問題のためではありません。彼らはもう救われていますから。彼は、最初の救いで救われた人たちの体を、この悪しき世から救うために来られるのです。そして、私たちをここから連れ去られます。

そこで2つ。もし、私がアメリカ人なら、他にもなく神のために投票に行きます。

私は国として祝福されたいですから。

ただ、もし私がクリスチャンなら、私はまた、主を心待ちにして、備えをします。

なぜなら、彼は、二度目は罪の問題のために来られるではありませんから。

彼は、この世から私たちを贖うために来られます。私たちをこの体から贖うため、この悪しき世から贖うため。

これらがアメリカの皆さんへ、主がくださった言葉、詩篇 33 章とヘブル 9:27-28 です。

最後にアロンの祝福を持って終わりたいと思います。

皆さん、Behold Israel をインスタグラム、フェイスブック、ツイッターでフォローしてください。私はツイッターもしています。ユーチューブでは、皆さんがきちんと登録されているか、確認してください。お知らせのスイッチがオンになっているか、確認をお願いします。

では、お祈りしましょう。

- |                                                                                                                                                    |                                                                                                                   |                                                                                                                                         |                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ヴェイシエメレハー<br/>וַיְשַׁמְרֵהוּ<br/>..(主が)あなたを守られますように</p> <p>ワイフネッカー<br/>וַיְהַנֵּךְ<br/>..(主が)あなたを恵まれますように</p> <p>シャーローム<br/>שָׁלוֹם<br/>平安を</p> | <p>アドナイ<br/>יְהוָה<br/>主が</p> <p>エーラーハー<br/>אֱלֹהֶיךָ<br/>あなたに(向けて) 御顔を</p> <p>レハー<br/>לְךָ<br/>あなたに(主が)賜るように</p> | <p>イェヴァーレフハー<br/>יְבַרְכֶךָ<br/>あなたを祝福し</p> <p>バーナーヴ<br/>בְּנֵי<br/>御顔を</p> <p>アドナイ<br/>יְהוָה<br/>主が</p> <p>アドナイ<br/>יְהוָה<br/>主が</p> | <p>24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。</p> <p>25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。</p> <p>26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(民数記 6:24-26)

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー  
ヤーエール アドナイ バーナーヴ エーラーハー ワイフネッカー  
イッサー アドナイ バーナーヴ エーラーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

あらゆる理解をはるかに超える平安、主によってのみ得ることの出来る平安、世が与えることのできない平安、イエスは言われました。

**33 …あなたがたは、世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」**

(ヨハネ 16:33b)

平和の君、平和の主の御名によって、イエシュア、イエスの御名によってお祈ります。

神の民は皆言います。アーメン

アーメン！ 皆さん、I love you!

偉大なる王の都、エルサレムよりシャローム。御言葉を宣べ伝えましょう。このメッセージを拡散してください。

アメリカ人の皆さんには、これは主が私にくださった言葉です。

私は次に起こる事に、とてもワクワクしています。

投票に行ってください。投票してください！

あなたの義務は、投票する事、主は、主の部分をしてくださいます。ですが、私たちは、私たちの分担を担わなければなりません。

神は、いつもいつもいつも、「いのちを選びなさい。」と言われます。

これは、人が選ぶ選択です。神は、私達がいのちを選ぶことを望んでおられます。私達が、この選択を決意することを望んでおられます。私達が、自分で選ぶのを。ですから、皆さん、いのちを選びましょう。

これは重要なことです。いのちを選ぶには、生命尊重派、家族尊重派、親イスラエル派を選ばなければなりません。

ありがとうございます。エルサレムより、God bless you! シャローム。 さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

エルサレムの夜景をバックにライブ：動画より

クラヨーヴァ・グループに招待されたネタニヤフ首相：Facebook The Prime Minister of Israel “Statement by Prime Minister Benjamin Netanyahu at the Craiova Forum Meeting”2018.11.4

アラビア半島の地図：Yahoo地図